



二戸市立仁左平小学校 校報

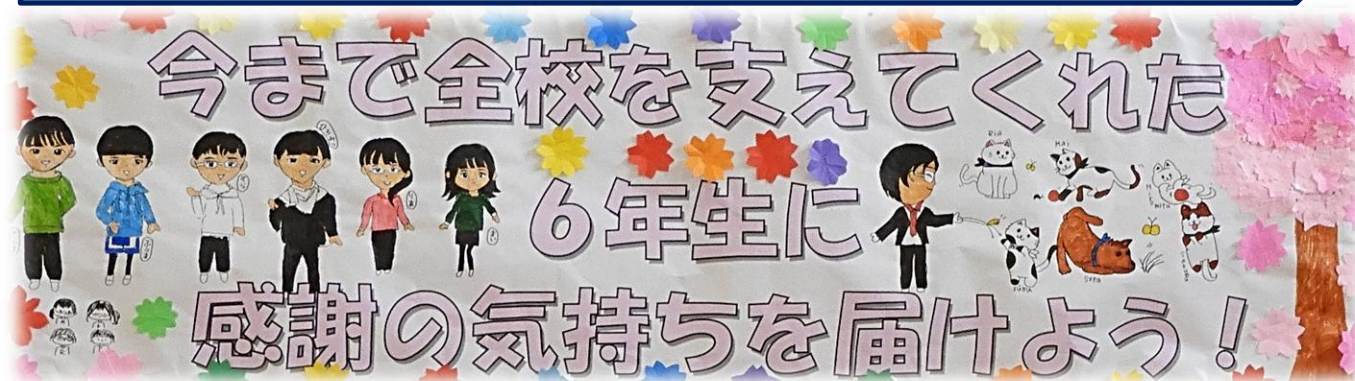
桜が岡

二戸市仁左平
字下構 55 番地
Tel 23-7595
fax23-9190

実践目標
きりっとした子ども



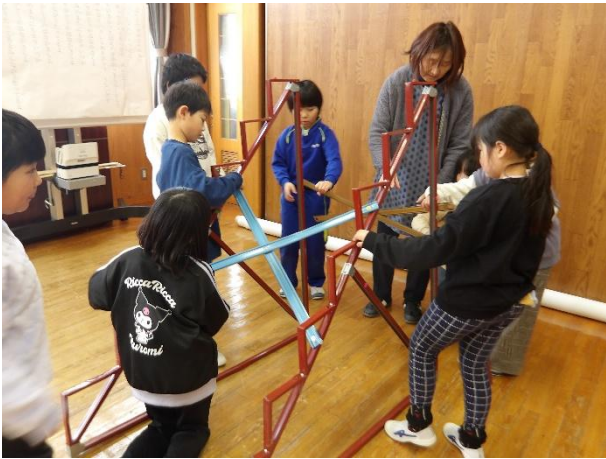
第13号 令和8年2月26日
発行者 吉田 悟



2月25日(水)、6年生を送る会が開かれました。4・5年生が実行委員を務め、この会を企画しました。各学年で役割を分担し、大好きな6年生のためにだいぶ前から準備をしていました。1年生と手をつないで入場してきた6年生。照れくさそうな、それでいて最高学年の誇りを感じさせる表情の6人、心も体も大きく成長したことがよくわかります。

全校でゲームやクイズを楽しんだあと、下級生よりプレゼントが渡されました。そして、桜が岡陣太鼓を下級生が初めて披露し、それに返す形で6年生だけの演奏が披露されました。6年生が背負ってきた最高学年の看板は、堂々と次の世代へと引き継がれていきました。今までありがとうの気持ちが、体育館いっぱいに広がりました。

桃の節句・おひなさまかざり



3月3日の桃の節句に向けて、仁左平小学校の多目的ホールにはひな人形が飾られました。この役目は、毎年1・2年生が生活科の学習を兼ねて担っています。日協担任と、澤用務員が手伝いながらどんどんひな壇が組まれていきます。そして、ひな人形の役割を確認しながら、一体一体ていねいに飾っていきます。このように、季節の行事を実際に自分たちの目で見、手で触れることにより、生活科の学習がより一層深まっています。

全員でチャレンジ！～全校縄跳び～



冬場の運動不足の解消に、健康委員会が全校縄跳び大会を企画してくれました。縦割り班でリレー方式で順番をつないでいく競技と、上学年と下学年にわかれて持久力を競い合う競技を行いました。跳び方も様々で、あや跳びや二重跳びを選択し、何十回も跳び続ける猛者たちもいました。

個人耐久レースで最後まで残ったのは、上学年は6年西井麻衣さん、下学年は3年吉田來羽さんでした。最後まで跳び続けた二人には、全校から大きな拍手が送られました。